シンポジウム
開催報告

ホソカワ粉体工学振興財団年報 Hosokawa Powder Technology Foundation ANNUAL REPORT

17001

第6回先進材料の界面制御と評価に関する国際会議 The 6th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2018)

開催期間 Date: 2018年7月9日(金)～12日(木) Monday–Thursday, July 9–12, 2018

開催場所 Place: 倉敷ロイヤルアートホテル 住所: 岡山県倉敷市阿知 3–21–9

Kurashiki Royal Art Hotel, 3–21–9, Achi, Kurashiki, Okayama 710–0055, Japan

主催者代表 Organizer representative: 内藤 牧男 Makio NAITO

一般社団法人粉体工学会 会長

President of the Society of Powder Technology, Japan

E-mail: m-naito@jwri.osaka-u.ac.jp

開催の目的

様々な先進材料開発の鍵を握るのは、粉体を含めた材料の表面、界面の制御と評価である。そこで本国際会議では、材料横断的な観点から、この点について国際的に発表、討論することを目的とした。

開催の内容

全体の参加者は236名であり、外国人の参加者は、16ヶ国から104名(全体の44%)であった。また、国内外から各学術分野で著名な研究者が、招待講演者として参加した。研究発表はホテル内の3会場に分かれて行われ、粉体、材料界面の評価と制御、スマートプロセス、構造制御による材料の高機能化とその評価、環境・エネルギーなどのセッションにおいて、それぞれ活発な質疑応答が行われた。発表件数は全体

で178件であり、招待講演45件を含む101件の口頭発表が行われた。また7月10日の夕方には、ポスターセッションが行われ、77件のポスター発表が行われた。参考までに会議参加者の集合写真を提出する。

成果の概要

界面は多くの材料および科学技術において極めて重要である。特に、粉体を利用して作製される材料において、その界面の設計と制御は特性の良否を左右するキーテクノロジーであるが、粉体工学、コロイド工学、材料科学、接合科学など、個別分野ごとに議論されているのが現状であった。本国際会議は、高機能化・多機能化が求められる先端材料を設計・製造するための界面の評価と制御に関して国際的に議論することを目的とした世界で唯一の国際会議である。今回6回目となった本国際会議は2003年

に開催された第1回目を皮切りに3年毎に開催（各回参加者約200名、うち海外約100名）されており、粉体工学を中核とした界面に関する国際会議として世界的に注目され、その世界的な動向を掴み、将来を展望することが本シンポジウムの大きな役目であった。今回会議が期待通り、国内外問わず著名な方の講演が多く組まれた各セッションにおいて、興味深い研究成果

発表ならびに活発な討論がなされ、非常に内容が濃く、有意義なシンポジウムであった。

全発表成果の概要は、講演予稿集（Programs and Abstracts）にまとめられている。

なお、本会議で発表された研究成果の一部は、論文誌 Advanced Powder Technology において査読を実施し、アクセプトされた論文は、今後、随時同論文誌に掲載の予定である。

ICCCI 2018 2018年7月10日 於 倉敷ロイヤルアートホテル

会議参加者の集合写真その1

ICCCI 2018 2018年7月10日 於 倉敷ロイヤルアートホテル

会議参加者の集合写真その2